

ベルフォーラム

Bell Forum

2007
SPRING

No.16

地域と職員と共に栄えるチーム



残雪の上高地穂高連峰

●医療最前線：**麻酔科の挑戦**

●連載：登録医のご紹介

●CLOSE UP：当院が7：1看護となりました！

●TOPICS：内科外来診療体制・新入職医師紹介



特別・特定医療法人 生長会

ベルランド総合病院

麻酔科の挑戦



麻酔科部長
ながはた としひろ
長畑 敏弘

Profile

昭和 61年	奈良県立医科大学 卒業	
	奈良県立医科大学麻酔科学教室	研修
昭和 63年	奈良県救命救急センター	医員
平成 1年	奈良県立三室病院麻酔科	医員
平成 2年	奈良県立医科大学麻酔科学教室	助手
平成 7年	奈良県立三室病院麻酔科	医長
平成 8年	ベルランド総合病院麻酔科	

資格等

日本麻酔科学会 専門医・指導医
日本ペインクリニック学会 認定医

医療制度改変の激動の渦中にあり、また医療を取り巻く環境の厳しさも日々の新聞の社会面をにぎわしている昨今です。この厳しい病院環境の中で、当院は着実に手術件数をのばしております。当初、4室運営していた手術室が、平成9年の東病棟の増設に伴い7室の手術室に、そして今月には第8手術室が増設されます。手術の主体は外科系診療部門であり、われわれ麻酔科は縁の下の力持ちであります。道は半ばですが、地域の皆さんにより良い医療を提供するお手伝いができるよう手術環境整備に邁進していきます。

スタッフは、坂本尚典（日本麻酔科学会専門医・指導医、日本集中治療学会専門医）、岸勝佳（日本麻酔科学会専門医）、山口綾子（日本麻酔科学会専門医、日本ペインクリニック学会認定医）の4名と非常勤医師1名、それに後期研修医2年目の篠原こづえです。最近、規模の大きい施設でも麻酔科の撤退で手術が滞り社会問題化されておりますが、幸いにも後期臨床研修医の入局もあり、安定した職場環境の証左となっております。

当科の診療内容は、麻酔業務を主体に、ペインクリニック外来、集中治療室の応援を行っております。

1. 麻酔管理

2006年度全体の手術症例3,709件で、うち麻酔科管理は2,345例あり、難易度の高い大手術（心臓血管外科手術、脳外科手術、呼吸器外科手術、腹部外科大手術）や高齢者の骨折症例が増加しています（図1、図2）。

全身麻酔であっても可能な限り硬膜外麻酔や局所麻酔を併用し体に負担の少ない麻酔管理を心掛けております。

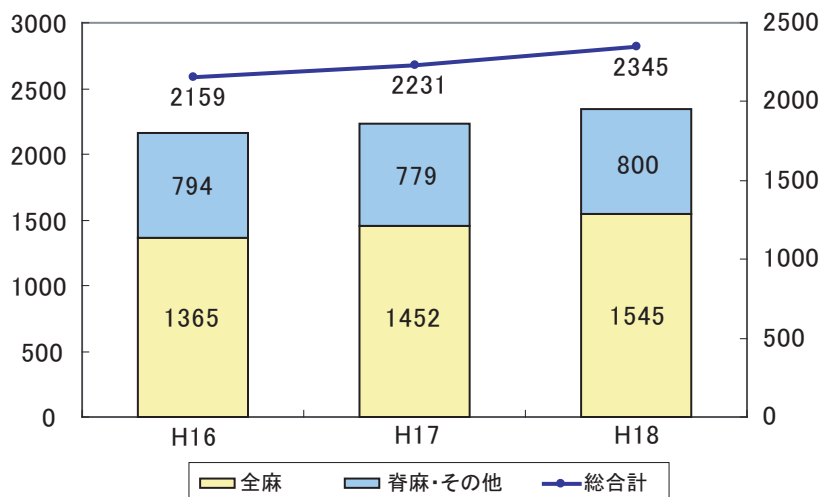


図1. 麻酔科関与手術件数の年度別推移

予定手術については、術前麻酔外来（月曜午前、水・金曜午後）で、事前の合併症のチェックや麻酔についての説明を行っております。緊急手術も含め、全身麻酔は当科が全て24時間体制でフォローしています。

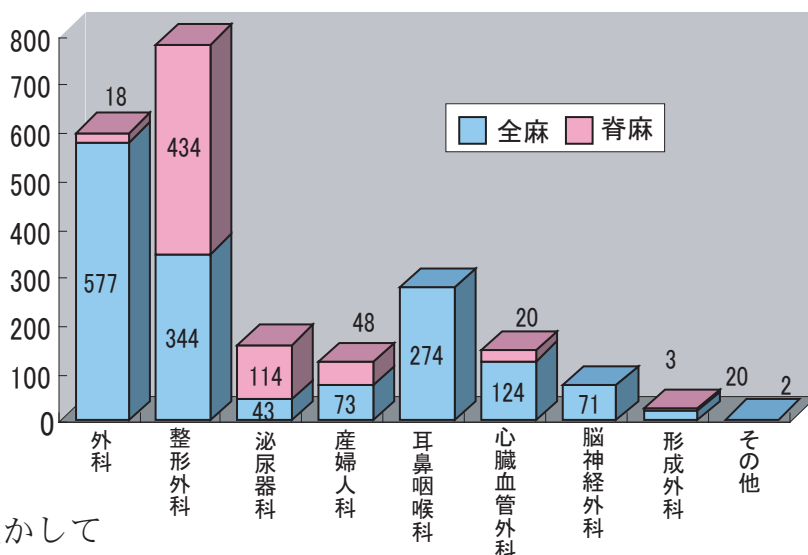


図2. 麻酔科関与の各科別手術件数

2. 外来ペインクリニック

麻酔における疼痛管理の知見を生かして発展してきたペインクリニック（痛みの外来）も行っており、私（長畑）と山口が週3回（月曜午後、水・金曜午前）外来を担当しております。

・対象疾患

帯状疱疹後神経痛・三叉神経痛・カウザルギー・RSD(反射性交感神経性萎縮)等の神経痛や脊椎疾患（脊柱管狭窄症、椎間板ヘルニアなど）由来の痛み、癌性疼痛、血管障害（閉塞性動脈硬化症・バージャー病etc）、眼瞼・顔面痙攣突発性難聴、顔面神経マヒ、アレルギー性鼻炎など

・治療手技

胸・腰交感神経節ブロック、神経根ブロック、星状神経節ブロック、硬膜外ブロックなどの神経ブロック（局所麻酔・高周波熱凝固・神経破壊）電気痙攣療法、硬膜外脊髄電気刺激療法、ボツリヌス注射など



図3

3. 集中治療部（ICU 10床）

急性期医療では、手術部とならび重要な中央部門であり、現在坂本が集中治療部副部長を兼任し、部長謝副院長を補佐しております。

4. 教育

当院は臨床研修指定病院で、麻酔科は臨床研修必須科です。各部門の専門医認定を受けるために必須の施設認定として、現在既得の日本麻酔科学会認定施設のほかに、日本ペインクリニック学会指定研修施設、集中治療専門医研修施設を今年取得致しました。

急性期病院として地域により質の高い医療を提供するためには、外科系診療科の充実はもちろんですが、それを支える麻酔科の充実が重要な因子であり、集中治療管理への関与も含め、まだまだ人員は十分とはいえませんが、更なる充実に向け精進していく所存であります。

医療法人秀峰会 岡原診療所



南海高野線萩原天神駅の近くにある東支所の西側で昭和60年3月より開業しています。

お車でお越しの際は駐車場(7台)がありますのでご利用下さい。政令都市になってから、診療所の前を北野田～美原方面間バスが運行されるようになりました。東区役所前下車すぐです。

開業するまでは国内外で、高血圧・腎疾患の治療研究を主としていましたが、これまでの経験を生かし、現在問題になっている少子高齢化のいろいろな医療問題にもかかりつけ医の立場より対応しています。地域支援病院であるベルランド総合病院は初期治療や在宅医療などを担うかかりつけ医と密接な連携があります。当診療所では電子カルテ化を準備中で、よりスムーズにベルランド総合病院や他科の診療所を含め医療機関相互の連携強化を進めているところです。医療についてのご相談は前もって電話でのご予約をお願いいたします。

DATA



診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00～12:00	●	●	●	●	●	●
17:30～20:00	●	●	●	●	●	/

管理医師 おかはら たけし 岡原 猛

■ 住所：堺市東区日置荘原寺町4-3-1

■ 診療科目：内科・小児科・皮膚科

■ TEL：(072)-286-6110

■ FAX：(072)-285-3510

宮崎内科



昭和50年に高倉台で父が開業しまして、平成16年5月に父に代わって急遽当院を継承することになって、もうすぐ4年目を迎えることになりました。

私は平成7年に兵庫医科大学を卒業いたしまして、当時の第4内科(現在の消化器内科)の故・下山教授の医局に入局いたしました。研修後は丹後地方、

兵庫県内の病院で地域医療を中心とした診療に従事し、開業前の3年間は宝塚市立病院で消化器科の専門医としての診療に従事しておりました。開業当初は勤務医の立場から開業医の立場に変わり、様々なことに戸惑いや不安を感じる事もありましたが、周囲に気軽に相談できる先輩、友人もいなかったため、病診連携についてもどこに紹介していいものか全く分からない状態でした。その頃よりベルランド総合病院には大変お世話になりまして、検査はもちろん、急な入院などにも対応していただいているので私はもちろん患者様や患者様のご家族にとっても大変心強く、日頃より感謝しております。

現在当院では経鼻的上部消化管内視鏡を始め、腹部エコー、胃透視など消化器科としての検査・診療、一般内科として風邪をはじめ、これからますます増えてくる生活習慣病の診療、また地域に根ざしたホームドクターをめざし、在宅診療・往診などに力を入れ、少しでも地域医療に貢献できればと思っております。我々開業医にとって病診連携は大変重要なことで、地域医療支援病院であるベルランド総合病院にはますますお世話になると思いますが、今後ともよろしくお願ひ致します。

DATA



診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00～12:00	●	●	●	●	●	●
17:30～20:00	●	●	●	●	●	/

管理医師 みやざき ひであき 宮崎 秀明

■ 住所：堺市南区高倉台2-5-8

■ 診療科目：内科・消化器科

■ TEL：(072)-292-8372

■ FAX：(072)-292-8374



当院の内科外来診療体制について



地域医療連携室からのお願い

当院内科医も人員増加し、充実してまいりました。さらに専門性も増してきましたことにより、先生方からの患者様ご紹介に際しましては、できる限り“内科”でなく、“〇〇内科”とご依頼いただければ、診察・検査・治療もよりスムーズにいくかと存じます。専門領域を特定しかねる場合は、「総合診療外来」宛にご紹介下さい。何卒、ご協力の程お願い申し上げます。

循環器内科

副院長 戸田 爲久 (とだ いく)
 副部長 田口 晴之 (たぐち はるゆき)
 医長 尾崎 健 (おざき たけし)
 副医長 浅輪 浩一郎 (あさわ こういちろう)
 副医長 久保 知一郎 (くぼ ともいちろう)
 医員 福田 弘毅 (ふくだ ひろき)
 医員 和田 諭子 (わだ さとこ)
 非常勤 片岡 亨 (かたおか とおる)
 非常勤 中田 真司 (なかた しんじ)
 非常勤 竹下 宏明 (たけした ひろあき)

消化器内科

部長 安 辰一 (あん たついち)
 医長 高木 地孝 (たかぎ くにたか)
 医長 大浦 元 (おおうら げん)
 医長 金川 美彦 (かながわ よしひこ)
 副医長 木下 輝樹 (きのした てるき)
 医員 大倉 康志 (おおくら やすし)
 医員 廣瀬 哲 (ひろせ さとる)
 非常勤 青木 矩彦 (あおき のりひこ)

呼吸器内科

部長 畠中 章五 (はたなか しょうご)
 副部長 池田 美和子 (いけだ みわこ)
 医長 伴 裕雅 (ばん ひろまさ)
 医長 真本 卓司 (まもと たかし)
 副医長 後藤 充晴 (ごとう みつはる)

内分泌・代謝内科

院長 伯井 信美 (はくい のぶよし)
 部長 八木 稔人 (やぎ たかひと)
 医長 辻野 高史 (つじの たかし)
 非常勤 川嶋 聡 (かわしま さとし)

リウマチ・神経・腎・血内科

医長 竹林 匡史 (たけばやし まさし)
 非常勤 佐伯 修 (さえき おさむ)
 部長 川端 徹 (かわばた とおる)
 非常勤 西本 和弘 (にしもと かずひろ)
 非常勤 西田 卓 (にしだ たく)
 非常勤 山口 通雅 (やまぐち ゆきなり)
 非常勤 麥谷安津子 (むぎたに あつこ)

◎：予約制 ※：非常勤

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	
内科	午前	4診	◎伴 裕雅	◎大浦 元	◎真本卓司	◎木下輝樹	◎大倉康志	◎安 辰一
		5診	◎安 辰一	◎辻野高史	◎辻野高史	◎畠中章五	◎花井 淳	◎山口通雅* (腎内)
		6診	◎西田 卓* (腎内)	◎麥谷安津子* (血内)	◎西本和弘* (神内)	◎青木矩彦*	◎池田美和子	◎高木地孝
		7診	◎竹林匡史 (リウ)	◎川端 徹 (神内)	◎安 辰一	◎佐伯 修* (リウ)	◎八木稔人	◎川嶋 聡*
		8診			◎廣瀬 哲	◎八木稔人	◎高木地孝	
	午後	4診		◎後藤充晴		◎伯井信美		◎川嶋 聡*
		5診		◎川端 徹 (神内)				
心臓病 センター	午前	1診	◎戸田爲久	◎片岡 亨*	◎田口晴之	◎久保知一郎	◎田口晴之	◎片岡*/竹下*
		2診	◎中田真司*					
	午後	1診	◎福田祥大*	◎戸田爲久	◎福田弘毅	◎石川 巧 (心外)	◎戸田爲久	交替制
		2診				◎浅輪浩一郎		◎髭 勝彰 (心外)

「救急処置法」の出張講習会～澤田整形外科にて



2月8日、竹城台の澤田整形外科において出張講習会を行いました。今回の講師は急病救急部長の北岸が担当させていただき、「救急処置法」というテーマで救急処置の重要性と心肺蘇生法・AEDの使用法について講習しました。澤田整形外科は在宅診療にも力を入れておられ、澤田出院長はじめ、土橋内科土橋康男先生・看護師・理学療法士の方など約20名が、90分の講習を熱心に受講されていました。レサシアン（人体模型）を使っての胸骨圧迫マッサージ（心マ）法と、AEDの使い方のデモンストレーションも見ていただきました。



このような救急処置法以外にも、「創傷管理について」「ミニ集団栄養指導」など、登録医のご要望に沿ったテーマで出張講習会をお引き受けいたしますので、ぜひご利用ください！
お問い合わせは地域医療連携室 村上まで



登録医のご紹介

平成19年4月15日現在 登録医総数 **213件**

地区名		医療機関名	院長名
西区	津久野町	岡原クリニック	岡原 和弘
堺区	広陵中町	管野クリニック	管野 展史
東区	西野	しんやしき産婦人科	新屋敷 康
東区	北野田	にしおか整形外科	西岡 栄恵

(区別五十音順・敬称略)

当院が7:1看護となりました！

I、看護配置基準

看護部 副部長 宮部 藤十郎

平成18年4月の診療報酬改定で、従来の2:1(新基準10:1)より手厚い配置基準である1.4:1(新基準7:1)の看護配置基準が新設されました。この改定は、安全で安心な医療を実現するためには、“今まで以上に手厚い看護職員の配置が必要不可欠である”という認識が評価されたものであります。

現在、7:1の看護配置基準を取得している施設は、大阪府下で500病床以上の病院では7病院とまだまだ少ないのが現状です(表1)。ベルランド総合病院では、いち早く平成18年5月から7:1看護体制を実現し、これまで以上に質の高い看護ケアと安全・安心な医療を提供しています。

表1. 大阪府下の7:1看護取得病院
(500病床数以上の病院)

	病 院 名	病床数
1	大阪医科大学附属病院	954
2	関西医科大学附属滝井病院	705
3	大阪府済生会中津病院	664
4	国立循環器病センター	640
5	大阪警察病院	580
6	ベルランド総合病院	522
7	大阪府済生会吹田病院	500

II、看護部の活動

看護部では、患者さまとの関わりに重点をおいています。関わる時間が多くなれば、一人の患者さまの小さな問題点にも気づきます。そこで、問題点を最小限にとどめる看護計画をいち早く立案し、具対策を確実に実践することにより、安全で安心な療養生活が送れるよう支援しています。また、ご家族との関わりにおいても、時間的・精神的に余裕が持てるようになると、患者さまの問題点を共有でき、ご家族と一緒に患者さまを支援することが可能となります。

一方、当院ではQC活動により業務を効率化し、看護師も有意義な生活を送れるよう、できるだけプライベートの時間を確保するようにしています。



わたしたちは、看護部の理念である「ぬくもりのある、ゆきとどいた看護の提供」を念頭に、看護師一人一人が“患者さま個人を見据えた看護”を主体的に実践し、“看護を考えることが楽しい”職場をめざしてまいります。

新入職 医師 紹介

平成19年4月1日付けで14名の医師が入職致しました。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

消化器内科



あん たついち
安 辰一

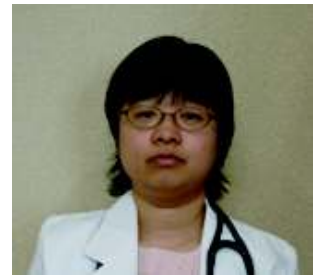


かながわ よしひこ
金川 美彦



おおくら やすし
大倉 康志

循環器内科



わだ さとこ
和田 諭子

総合内科



いわさ やすひで
岩佐 泰秀

消化器外科



でむら こういち
出村 公一



いまがわ あつお
今川 敦夫

心臓血管外科



むらかみ ただひろ
村上 忠弘

形成外科



なかがわ ゆみこ
中川 由美子

整形外科



まえだ かずや
前田 一哉

産婦人科



かなやま ともこ
金山 知子

泌尿器科



ご いしゅん
呉 偉俊

急病救急部



はまぐち みつひで
濱口 満英



こうむら みのる
甲村 稔

第1種消化器内視鏡技師

名嘉 由美子 田中あおい

日置 忍 光田 美和
(リーダー)



当院は、地域医療支援病院として急性期医療を行っておりますが、消化器疾患の占める割合は年々増加しており、現在では常勤医7名、非常勤医5名、内視鏡技師4名が中心になって内視鏡業務に携わっています。平成16年には日本消化器内視鏡学会の認定指導施設にも認定され、同時に単独型臨床研修指定病院として臨床研修医の指導も行っております。

内視鏡技師とは

日本消化器内視鏡学会の資格試験により認定されます。第一種消化器内視鏡技師資格は、看護師、臨床検査技師、診療放射線技師、薬剤師、衛生検査技師、臨床工学技士が、第二種は准看護師が申請出来ます。

現在、全国に約一万人登録されており、消化器内視鏡検査や内視鏡的治療の介助、補助業務に携わっています。

認定を取得するには

消化器内視鏡医が従事する内視鏡室で、2年以上実務経験が必要で、内視鏡機器取り扱い講習会と機器セミナーならびに消化器内視鏡技師研究会への参加、

医学講習会受講も義務付けられています。年に一回開催される東京での学術試験、口頭試問に合格する必要があり、認定取得後も5年毎に更新が必要です。

当院での内視鏡技師の役割

午前中に、ルーチンの上部内視鏡検査に加え内視鏡的止血、胃瘻造設、ポリペクトミー、食道静脈瘤結紮術、さらに超音波内視鏡検査を行います。午後は、下部内視鏡検査(ポリペクトミーや粘膜切除含む)と上部特殊内視鏡検査(内視鏡的胆管膵管造影、内視鏡的乳頭拡張ならびに乳頭切開、胆管結石砕石術、食道静脈瘤硬化療法、粘膜切開剥離など)を行っています。

当院では、最先端のハイビジョンの電子内視鏡システムをいち早く導入するとともに、紹介医の先生方には返信にカラープリンター写真を同封してすぐにお返事をお送りしています。また内視鏡学会のガイドラインに沿った洗浄法に批准するために、最新鋭の自動洗浄器を3台設置して、被験者及びスタッフの感染症対策に万全を期しております。

平成18年度の内視鏡検査件数

上部消化管	3033
下部消化管	1378
気管支	132



さらに、気管支鏡検査介助も私たち内視鏡技師の役割となっており、夜間の緊急内視鏡にもフルに対応できる体制に備え、消化器内科病棟の看護師との連携も始まっています。今後も日々研鑽し、新たな認定を習得しようとするスタッフの助けとなり、さらなる内視鏡検査技術の向上に寄与できればと思っております。

センスアップ マナー～テーブルマナー編～

テーブルマナーは、みなさん知っているようで意外と知らなかったり、普段行かないレストランでこんな時はどうしたらいいのだろう？などと、マナーのことが気になっておいしい食事が出来なかったという経験はありませんか？今回は、知っておくと得をする、知っておいて良かったと思える簡単なテーブルマナーをいくつかご紹介いたします。

POINT① 椅子への座り方

椅子の左から入って、左から出るのが基本ルールです。



中座時は
軽くたたんで椅子の上に

POINT② 女性のハンドバッグの置く場所

自分の左側の床に置きます。理由は、右側に置くと隣のお客様の出入りの邪魔になるからです。
テーブルの上には絶対に置かないで下さいね。

POINT③ ナプキンの使い方

ナプキンは食事中に服を汚さない為と、口のまわりや手が汚れたときに拭くために使用するものです。口の汚れを取るなどこまめに、ドンドン使いましょう。
自分のハンカチを使うのは、お店の人にとって失礼にあたります。
ナプキンは二つ折りにして、輪の方が自分のお腹側にくるように膝の上に置き、使用する時はナプキンの内側を使います。

食事中は出来るだけ中座しないのが原則ですが、中座する時はかるくたたんで椅子の上に置いて下さい。食事が終了したら、ナプキンはたたんでテーブルの左側（自分の左側）に置きます。この時、綺麗にたたんで置く方がいいように思いますが、綺麗にたたむと食事に満足できなかったというサインになりますので、適当にたたんで置いて下さい。

POINT④ スープの飲み方

スプーンを手前から奥へ動かして、スープをすくって飲む。スープが残りが少なくなったら皿の手前を少し持ち上げて、皿のおこうにスープを寄せて下さい。両方に柄のついたスープカップの場合は、柄を持って口をつけて飲んでもOKです。



手前から奥へ

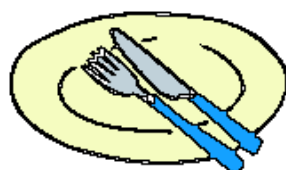
POINT⑤ ナイフ、フォークのサイン

食事を中断するときは、フォークの背を上、ナイフの刃は内側にむけ、八の字に置く。

食事が終わったらフォークの腹を上にし、ナイフの刃は内側にむけ、揃えて置く。



食事を中断するとき



食事が終了したとき

★ワンポイント・アドバイス

一流のレストランやホテルの宴会場では、お絞りをサービスしない所がほとんどのようです。食事前には化粧室へ行き、手を洗い、化粧直しもしておきましょう。うっかり汚れた手でパンをちぎってしまうかもしれませんよ。

Bell Letter

地域医療連携室では、

- ①診察・検査の予約
- ②入院の受け入れ
- ③診療情報提供書の返信チェック
- ④当院からの逆紹介

等の業務を行っています。

①②に関しましては、医師への確認・院内調整を行い、
予約票（来院日時）を作成しFAXにてご報告いたします。

その他、ご依頼等がございましたら、お気軽にお問合せ下さい。



ベルランド総合病院

平日（午前9時～午後8時）・・・地域医療連携室

直通番号：0120-13-9215

F A X：0120-53-0096

休日・平日時間外（午後8時～午前9時）・・・救急室

代表番号：072-234-2001

F A X：072-234-9124

ホームページ <http://www.seichokai.or.jp/>